

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 国 語 】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元ごとの目標設定がしっかりとなされ、学習の見通しと振り返りができる工夫が見られる。また、目標達成のためのポイントが設けられるなどの工夫がなされている。
- 基礎的・基本的な内容の習得を図るために、教材を通して生徒が身に付けるべき学習内容が示され、その定着が図られるような振り返りのページが設定されている。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえて、発展的な学習に取り組んだり、自主的な活動を促したりする単元設定がなされている。また、学習活動に取り組みやすいように分かりやすくまとめられている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、「話すこと・聞くこと」の領域において、自分の考えや意見を分かりやすく説明し、相手を説得する力が不十分である。

また、「書くこと」の領域についても、平均程度の力についてはついてきているが、一定の条件のもとに、自分の立場や伝えたい事実、事柄を明確にして表現することについて、より高める必要がある。

そのために、各学校における教科指導及び家庭における生徒の自主的な学習の充実を図る必要がある。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 「話すこと・聞くこと」の領域において、自分の考えや意見を分かりやすく説明し、相手を説得する力を身に付けさせるための単元設定に優れている。
- 「書くこと」の領域においても、自分の立場や伝えたい事実・事柄を明確にして表現できる手立てがとられており、巻末の資料の内容も充実している。
- 生徒が主体的に家庭学習に取り組み、その充実と定着を図るための手立てとして、学習課題の設定や図、挿絵等が盛り込まれている。また、本県で起こった口蹄疫を題材として取り上げるなど、生徒の意欲を喚起するつくりになっている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 書 写 】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元ごとの目標設定がしっかりとなされ、文字を正しく書くといった基礎的・基本的な内容の定着が図られるような構成になっており、書写技能が高められる工夫がなされている。
- 手紙等の実生活で役立つ教材が盛り込まれており、身に付けた技能を生活の場で生かせるような工夫が見られる。また、伝統的な言語文化に触れられるように、古典分野の資料の掲載も充実している。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、3年間の学習を見通せるような配慮が見られる。また、発展的な学習に取り組んだり、自主的な活動を促したりする単元設定がされており、学習活動に取り組みやすいように分かりやすくまとめられている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、日常的に書写に取り組んでいる生徒はほとんどおらず、筆順や文字のバランスについても、正しい知識や技術が身に付いていない生徒がいる。

また、みやざき小中学校学習状況調査等の結果を分析すると、行書の文字を楷書へ書き改めることや、行書で書かれた部首名を平仮名で答える問いについての正答率についても十分とは言えない状況である。

学校の実態としては、夏季・冬季休業中の課題として生徒に書き初めや書道展への作品の提出を求めている。取組に差はあるものの、多くの生徒が課題を提出することができている。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 漢字に関する資料を通して、幅広い知識や技能を身に付けられるような工夫がなされている。また、行書の学習を手紙や絵はがき等、生活につながる工夫がなされ、生徒が筆をとって書いてみたいと思うような硬筆・毛筆教材が充実している。
- 半紙や書き初めの実物大手本を掲載するとともに、基本の点画や筆圧、穂先の動きなど、行書特有の筆さばきが二色の薄墨による解説で掲載され、中学生にとって学びやすいつくりになっている。また、楷書と行書の使い分けや点画の連続、点画の省略等についても基本的な例が挙げられている。
- 日常的に書道を学ぶ機会が少ない本町の生徒でも主体的に家庭学習に取り組み、その充実と定着を図るための手立てとしての資料等が盛り込まれており、生徒の意欲を喚起するつくりになっている。

平成 28 年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 社会（地理）】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得のため、見開き 1 単位時間の紙面を構造化し、学習の道筋や視点を明確にする工夫がなされている。
- 本文に関連した知識や地理学習に必要な技能を身に付け、それらを活用しながら課題を探究できるように工夫されている。
- 生徒の興味・関心や学習効果を高めるために、写真や図等が効果的に配置され、諸地域の学習においては、設定されたテーマが追究できるように工夫されている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、意欲的に学習に取り組む生徒が多い一方で、基礎的・基本的な内容が定着していない生徒が少なからずおり、資料をもとに考察し、説明する力に課題がある。

また、教師の授業においては、社会科としての問題解決的な指導方法を推進しているが、依然として教師主導型の授業も見られ、思考力・判断力・表現力を養う授業づくりの推進が求められている。

その他、文化施設については、地域の文化資料館はあるものの、蔵書豊富な図書館や博物館等はなく、社会科の学習を深める施設が不足している状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の 2 点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 構造化された紙面とともに十分なページ数を確保することによって、基礎的・基本的な内容の定着がなされるように工夫され、習得した知識や技能を活用しながら発展的な学習にも取り組めるようになっている。
- 地理的技能や調査学習に必要な技能を系統的に身に付けられるように構成され、諸地域学習においては、追究テーマに対する答えを予想して学習できるようになっており、問題解決的な学習に取り組みやすいつくりになっている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 社会（歴史） 】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

（１）『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元ごとの目標がしっかりと示され、目標達成に向けて、導入の段階からまとめの段階まで学習の見通しをもつことが可能な編集がなされている。
- 学習内容の定着を図ることができるように、展開段階の学習課題に対応して、学習内容を振り返り、まとめを行うよう工夫されている。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえて、内容の程度や範囲が示されている。本文を補完する資料が適宜用いられ、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるようになっている。

（２）五ヶ瀬町の生徒の実態としては、みやざき小中学校学習状況調査の結果によると、B問題（活用問題）の正答率が低い現状がある。

また、教師の授業においては、社会科としての問題解決的な指導方法を推進しているが、依然として教師主導型の授業も見られ、思考力・判断力・表現力を養う授業づくりの推進が求められている。

その他、文化施設については、地域の文化資料館はあるものの、蔵書豊富な図書館や博物館等はなく、社会科の学習を深める施設が不足している状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の２点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 構造化された紙面とともに、俯瞰的に歴史の流れを大観するページが設けてあり、基礎的・基本的な内容の定着がなされるように工夫され、習得した知識や技能を活用しながら発展的な学習にも取り組めるようになっている。
- 時代の特色の理解を確実にするため、単元の流れが構造化されており、段階的かつ多様な言語活動によって各時代の特色をとらえられるようになっているなど、生徒にとっても使いやすく、思考力・判断力・表現力を身に付けられるようになっている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 社会（公民）】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得のため、見開き1単位時間の紙面を構造化し学習の道筋や視点を明確にする工夫がなされている。
- 思考力・判断力・表現力を身に付けるために、説明・要約などの言語活動や、個別学習・話し合い活動等に取り組めるよう工夫がなされている。
- 生徒の興味・関心や学習効果を高めるために、写真や図等が効果的に配置され、平易な文章表現で理解しやすいように工夫されている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、意欲的に学習に取り組む生徒が多いが、基礎的・基本的な内容の定着については、全体として不十分さがあり、特に、資料をもとに考察し、説明する力に課題がある。

また、教師の授業においては、社会科としての問題解決的な指導方法を推進しているが、依然として教師主導型の授業も見られ、思考力・判断力・表現力を養う授業づくりの推進が求められている。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 基礎的・基本的な内容の定着がなされるように、写真や図等を効果的に配置しながら見開き1単位時間の紙面が構造化されるとともに、日常的・段階的に言語活動が行えるような単元の工夫が見られる。また、思考の段階に沿った様々なコーナーを設けるなど、習得した知識や技能を活用しながら発展的な学習にも取り組めるようになっている。
- 防災・安全、情報、主権者等の今日的な課題を取り上げ、豊富な資料をもとに具体的に理解できるような工夫がなされており、よりよい社会の形成に必要な公民的資質を養うことができるようになっている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 社会（地図）】

1 採択教科用図書

- 『東京書籍』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『東京書籍』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 世界・日本の諸地域を大観させることを重視し、見やすいサイズの写真や鳥瞰図が多用されており、興味・関心を高める工夫がなされている。
- 過去の時代の主要都市の詳細地図を掲載し、環境問題や国際協力に関する資料図を設け歴史・公民の授業でも活用できるよう工夫がなされている。また、テーマ資料を掲載して地域の特色を説明する活動を取り入れるなど、生徒の言語活動の充実に配慮した工夫がなされている。
- 適切な彩色文字・記号で表現したり、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインを使用したりするなど、生徒が無理なく安心して学習できるよう工夫がされている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、意欲的に学習に取り組む生徒が多いが、基礎的・基本的な内容の定着については、全体として不十分さがあり、特に、資料をもとに考察し、説明する力に課題がある。

また、教師の授業においては、社会科としての問題解決的な指導方法を推進しているが、依然として教師主導型の授業も見られ、思考力・判断力・表現力を養う授業づくりの推進が求められている。

その他、文化施設については、地域の文化資料館はあるものの、蔵書豊富な図書館や博物館等はなく、社会科の学習を深める施設が不足している状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『東京書籍』を採択する。

- 文字の大きさや色づかいに配慮しながら構成されており、生徒が無理なく安心して学習できるよう工夫がなされている。また、テーマ資料を掲載して地域の特色を説明する活動を取り入れるなど、地図活用の技能を高める工夫が随所になされており、資料をもとに作業をしたり説明したりすることができるようになっている。
- 各地域の様子をイメージしながら捉えることができるよう、写真を多く取り入れ、特産物等の絵（記号）を多く記すなど、地図に対する興味・関心を高めながら学習を進められるよう工夫がなされている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 数 学 】

1 採択教科用図書

- 『啓林館』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『啓林館』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、既習事項を活用していく力が身に付くように、小学校での学習を含めた既習事項のつながりが分かる「学びをつなげよう」と、新たな学習内容への展開が分かる「学びをいかそう」が一冊にまとめられた別冊が作成されている。また、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるような問題が、章末や巻末に豊富に掲載されている。
- 活用の学習活動を展開するために、「数学展望台」には、生徒が学習に対する興味と意欲を持続できる問題を取り上げるなどの工夫が見られる。
- 生徒に分かりやすくするために、重要な見方・考え方や数学的な思考を広げていく課題設定の視点を「見方・考え方」で示し、確認できるなどの工夫が見られる。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、基礎的な問題及び活用に関する問題ともに県平均を下回っており、上位層と下位層に差が見られる。また、根拠をもとに数学的な表現を用いて説明することにも課題が見られる。今後、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び活用する力の育成を図っていく必要がある。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『啓林館』を採択する。

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるために、「問」と「基本のたしかめ」を設けたり、活用する力を身に付けるために、生徒が学習に対する興味と意欲を持続できる問題を取り上げたりするなどの工夫がなされている。
- 既習事項や、既習事項を活用して発展させていく内容が別冊にまとめてあり、生徒にとって使いやすく工夫されている。また、別冊に章末問題等の解答が載せてあり、問題と照らし合わせながら答えを確認することが出来るような工夫も見られる。
- ポイントを押さえたノートの記事例を示すなど、数学科における表現力等を高めることができるような工夫がなされている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【理 科】

1 採択教科用図書

- 『啓林館』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『啓林館』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、青色シートを用いて重要語句のチェックをしたり、「力だめし」「学年末総合問題」へと段階的に取り組ませたりするようしている。
- 言語活動の充実を図るために、分冊を構成し、考えを書かせたり作図させたりするなど、論理的な思考や表現の場を設定している。
- 学習効果や使用上の利便性を高めるために、本県の地域素材を取り扱った写真の掲載や環境教育に関する記述があり、自然の豊かさや多様性に触れる機会を設けている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、各種学力調査等においては県平均程度で、基礎的・基本的な知識や技能の習得、科学的な思考力・表現力の育成について充実を図る必要がある。

また、授業の様子から、学習内容と身近な生活との関連を考え、理科を学ぶことの意義や有用性を実感しながら学んでいる生徒は多くなく、今後、授業において身近な生活との関連を意識した授業が必要と考える。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『啓林館』を採択する。

- 基礎的・基本的な知識や技能の習得及び論理的な思考や表現を行わせる工夫が見られ、科学的思考力を育成することができる。
- 分冊による構成により、言語活動を充実させる工夫が見られる。
- 県内の地域素材を教材として取り上げ、理科学習への興味・関心をもたせる工夫が見られ、身近な生活と関連させながら学習を進めることができる。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 音楽（一般） 】

1 採択教科用図書

- 『教育出版』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『教育出版』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元構成は、全学年ともに「三つの柱」である「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」で構成され、様々な教材を弾力的に取り扱えるよう適切に配置されている。
- 音楽文化については、「我が国で長く親しまれている歌」「我が国や郷土の伝統音楽」「アジアや諸外国の音楽」を観点に、教材の選択に工夫がなされている。
- 「共通事項」の指導については、どの教材にも活動のポイントが示されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る工夫がなされている。鑑賞教材について、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめるヒントを示すことで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、音楽の授業に対して素直に取り組み、合唱などに対して楽しみながら学ぼうとする姿がある。

音楽を指導する教員については、中学校2校のうち1校に配置されており、兼務で指導にあたってもらっているため、授業においては、専門的な指導は受けられているが、ただ、3年ごとに異動があり、必ずしも指導経験豊富な教員が配置されるとは限らない状況である。また、町内施設やイベントが不足しているため、音楽にふれる機会が十分にあるとは言えない状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『教育出版』を採択する。

- 小学校からの学習の積み重ねと感性を大切にした系統性が考慮されており、小学校と中学校とのつながりを意識した授業展開がしやすい。
- 伝統芸能等が残る本町の生徒を指導する上で、和音階等や民謡の記述等が分かりやすい。
- 生徒が主体的に活動を展開しながら、表現や鑑賞における基礎的な能力を身に付けられるような指導が、指導経験年数に関係なく出来るような配慮が見られる。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 音楽（器楽） 】

1 採択教科用図書

- 『教育出版』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『教育出版』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成は、楽器についての知識や基礎的な奏法をまとめた「楽器の基礎」と、様々な楽器編成による「教材曲集」で構成され、基礎的な学習とそれを使つての応用・発展学習が系統的に取り扱える工夫がなされている。
- 音楽文化については、和楽器とリコーダーの組み合わせによる合奏曲など、多様な形態の教材が選定されており、我が国や諸外国の音楽文化を尊重する態度を育成するためにふさわしい内容となっている。
- 「共通事項」の指導にあたっては、取り扱う楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付け、それを生かした表現ができるような学習の進め方になっており、和楽器の取扱いやアンサンブルの部分では、発達の段階に応じた学習活動が展開できるよう工夫されている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、音楽の授業に対して素直に取り組み、合奏など器楽について音色を楽しみながら学んでいこうとする姿がある。琴などの和楽器についても興味をもって、学んでいる。

音楽を指導する教員については、中学校2校のうち1校に配置されており、兼務で指導にあたってもらっているため、授業においては、専門的な指導は受けられているが、ただ、3年ごとに異動があり、必ずしも指導経験豊富な教員が配置されるとは限らない状況である。また、町内施設やイベントが不足しているため、音楽にふれる機会が十分にあるとは言えない状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『教育出版』を採択する。

- 各楽器の基礎的な奏法に関して、小学校3年生から扱うソプラノ・リコーダーを用いて学習を広げることが可能となるよう、小学校からの学習の積み重ねと系統性が考慮されており、小学校からのつながりを意識した授業展開がしやすい。
- 伝統芸能等が残る本町の生徒に指導する上で、和楽器の取扱いについて分かりやすく記述されている。
- 教員の指導経験年数に関係なく、生徒が主体的に活動を展開しながら習得した知識・技能を活用できるよう工夫がなされている。

平成 28 年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 美 術 】

1 採択教科用図書

- 『日本文教出版』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『日本文教出版』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 表現及び鑑賞の活動が、領域や項目を整理して分かりやすく示してあり、中学校 3 年間を通じて自己から生活へ、さらに社会・自然・環境というステージで学習するように設定されている。また、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うために、美術文化の国際社会における役割や防災デザインなどの社会的機能についてふれている。
- 各題材において、学びのねらいを観点別に示すとともに、学習内容の重要点をまとめるなど、生徒の理解が促進する工夫がなされている。また、言語活動の充実を図り、友だちと意見交換したり、プレゼンテーションしたり、感じ取ったことを自分の言葉で伝えたりすることができるような工夫がなされている。
- 生徒が自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めるように工夫されている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、生徒の写実的な表現に対する価値観は高いものの、小規模校であるため、より多くの作品にふれる機会が少ない状況である。そのため、自己表現に苦手意識をもち、多様な表現力に乏しいという面も見られる。

また、町内に美術館がなく、年間数回行われる展示会があるぐらいで、著名な美術作品に直接ふれる機会が少ない。

その他、美術を専門とする教員が配されておらず、現在は、美術の免許所有の非常勤講師に来ていただいているが、今後、免許外の教員が指導しなければならない状況も考えられる。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の 2 点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『日本文教出版』を採択する。

- 利便性及び生徒の発達の段階を考慮して、サイズや冊数に工夫が見られる。
- 美術における基礎・基本を重視し、学ぶべき事項を整理して丁寧な解説を付すなど、分かりやすい題材としてまとめられており、免許外の教員等でも、教科用図書だけで授業が進められるような工夫が見られる。
- 和紙での折り込みや仏像を掲載した折り込みページなどは圧巻であり、美術文化に対する興味・関心を高め、よさや美しさを味わう鑑賞の能力を育てる工夫が見られる。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 保健体育 】

1 採択教科用図書

- 『学研教育みらい』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『学研教育みらい』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 系統性を重視した学習、実習、言語活動、協働学習、課題解決的な学習を効果的に取り入れることで、自ら学び、考える力を身に付けることができるような編集の工夫がなされている。
- 指導の充実を図るために、学習目標や課題の把握、身に付けた知識の活用が図られるような工夫がなされており、探究や発展的な学習、章末のまとめの編集の工夫により個に応じた指導ができるような編集の工夫がなされている。
- 利便性の向上を図るために、本文の位置を固定し常に同じ視線の流れで学習できるようにしたり、図表や写真、イラスト等を豊富に掲載し生徒の興味・関心を高めたりする工夫がなされている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、町内全ての中学校に保健体育を専門とする教諭が配置されており、専門的な指導を受けることができている。町内の中学生のほとんどが部活に加入しており、体力テストの結果については、個人差や項目差はあるものの各学校改善に努めている状況である。

また、上級学校へ進学する際、地理的条件から下宿や寮生活を送ることになる生徒がほとんどであり、健康に関する科学的な理解を深め、幅広い知識・教養と実践力を身に付けるさせることが求められる。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『学研教育みらい』を採択する。

- 写真資料や工夫された図解などが豊富に掲載され、学習内容を視覚的にとらえることができ、生徒が興味・関心をもって学習に取り組み、科学的な理解が深められるよう工夫されている。
- 単元を通して、学習の進め方を身に付けやすくするための工夫がなされ、基礎的・基本的な知識の習得と活用、探究の学習や自分の生活に即した課題解決的な学習に取り組めるような工夫も見られる。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 技術・家庭（技術分野） 】

1 採択教科用図書

- 『開隆堂』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『開隆堂』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 各学習項目に、学習内容をまとめるページを設定し、自己評価をさせるとともに、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫がなされている。
- 知識・技能の習得を図るために、言語活動を充実させるような活動例等が示され、技術分野特有の言語活動についても、意欲を高める工夫がなされている。
- 写真やイラスト等を掲載し、学習への興味・関心を高め、製作工程や栽培等の例を多く示すことで、内容をイメージしやすくする工夫がなされている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、日常生活の中でのものづくりを体験したり、実践したりすることが少ないが、興味や関心、学習意欲は高い。

また、技術・家庭（技術分野）を指導する教員については、専門性のある教員が配置されておらず、免許外の教員が指導している状況である。

地域の産業については、農林業が主幹産業であり、いろいろなものづくりについて地域の協力を得たり、企業等との連携を図ることが難しい状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『開隆堂』を採択する。

- 写真やイラスト等により製作工程や実習例が多く示され、学習への興味・関心が高められるなど、生徒にとって親しみやすく、主体的な学習をイメージしやすい編集になっており、免許外教員にとっても指導しやすい構成になっている。
- 情報モラルや情報セキュリティ等の情報教育について、具体的な資料を使った編集がなされるなど、本町でも必要となってきた情報モラル等の学習がしやすい工夫が見られる。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 技術・家庭（家庭分野） 】

1 採択教科用図書

- 『開隆堂』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『開隆堂』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 1単位時間の授業展開を意識した内容構成がなされ、学習のまとめで「生活に生かそう」を設定するなど、課題意識をもって生活をよりよくしようとする工夫が見られる。また、「人やものに関わりながら学ぼう」では、自分の生活との関わりを考えさせ、主体的に学習に取り組めるように工夫している。
- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるように、基礎・基本と参考・発展等の区分を明確に示し簡潔かつ的確に記述したり、巻末に言語活動の充実を図るページを特設したりするなどの工夫が見られる。また、興味・関心を高める工夫として、資料（衛生・安全・参考）や「豆知識」のコーナーを設定している。
- 4人の中学生が学習を案内したり、マークで学習のポイントやヒントを示したりするなど、生徒が親しみをもって学習できるよう工夫されている。また、内容で色を変えたり、実習では作業の流れや手順、進め方を図式や写真で示したりすることで、使用上の利便性を高めている。防災と安全については、特設の見開きページで取り上げ、実践につなげられるような工夫が見られる。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、技術・家庭（家庭分野）の授業に対して素直に取り組む、特に、調理実習等については、意欲的に取り組んでいる状況である。

また、技術・家庭（家庭分野）を指導する教員については、専門性のある教員が配置されておらず、免許外の教員が指導している状況である。

地域環境としては、山間部であるため、土砂崩れなどの災害に対する危険性のある地域である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『開隆堂』を採択する。

- 指導しやすい資料や事例が数多く紹介しており、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させやすくなっており、免許外教員が指導しやすい構成になっている。
- 全国各地の郷土料理や地域の食材、弁当づくりなどについて写真入りで数多く掲載するなど、生徒が郷土の食材、料理に興味を抱かせる内容があり、学習意欲を高める工夫が見られる。
- 防災・安全・衛生教育についての特設ページが設定されており、安全や環境、防災について意識して学習できるような工夫が見られ、本地域における暮らしと関連させた指導が期待できるつくりになっている。

平成28年度用中学校教科用図書採択理由書

教科等【 外国語（英語） 】

1 採択教科用図書

- 『開隆堂』

2 採択教科用図書の概要及び生徒の実態

- (1) 『開隆堂』は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 4技能を活用し、自己表現活動を充実させるために、「My Project」を配列し、各セッションに対話形式の「Basic Dialog」及び「Listen」「Speak」「Try」の3段階の流れで構成し、単元の目標達成に向けた工夫がなされている。また、世界の食文化やヨーヨーとけん玉の比較など多様な題材を扱うことで、言語や文化に対する理解を深める工夫がなされている。
- 言語活動の充実を図り、4技能を総合的に育成するために、「My Project」において、「Expression Box」の表現も参考にし、「自分のことを話そう」「スピーチをしよう」「あの人にインタビューしよう」について、自分の考えを整理して発表する活動や読み物資料の読解などを取り入れる工夫がなされている。
- 自律した学習ができるように、重要語句や言語活動を示すマーク、基本文などの表記について見やすくするための工夫がなされている。また、「Word Box」「英語のしくみ」「発音クリニック」等を設定したり、英語で「できるようになったこと」リストを付録に添付したりするなど、学習効果を高める工夫がなされている。

- (2) 五ヶ瀬町の生徒の実態としては、各種調査結果によると基礎的・基本的な学習内容の確実な定着及び活用問題について県平均程度を少し上回る状況ではあるが、まだまだ努力を要する状況である。

外国語（英語）の授業では、ALTを活用し、英語を使った表現力の向上にも努めているが、まだ、不十分な状況である。

3 採択理由

北部地区採択協議会の選定を受け、上記の2点を鑑みた場合、特に以下の点で本町の実態に適しているので『開隆堂』を採択する。

- 自分の思いや考えを、英語を使ってしっかりと発信できるように工夫されており、4技能をバランスよく定着させるための言語活動が設定されている。
- 生徒が自律した学習を展開できるように、マークや表記等について見やすくする工夫がなされ、学習効果の高まりも期待できるつくりになっている。